

吹田市の概要と特性

○ 大阪府北部に位置し、東は茨木市及び摂津市、西は豊中市、南は大阪市、北は箕面市に接する。

○ 市北部は北摂山系を背景として標高20mから116mのなだらかな千里丘陵、南部は安威川、神崎川、淀川をつくる標高10mほどの低地から形成。

◆人 口 380, 524人(令和4年6月末現在)

◆世 帯 数 180, 990世帯(令和4年6月末現在)

◆面 積 36. 09km²

◆用 途 地 域

商業地域	107ha(3. 1%)
準工業地域	184ha(5. 4%)
工業地域	77ha(2. 2%)

◆事 業 所 数 11, 654事業所 ※

◆従 業 者 数 157, 294人 ※

◆市 民 の 木 くすのき

◆市 民 の 花 さつき



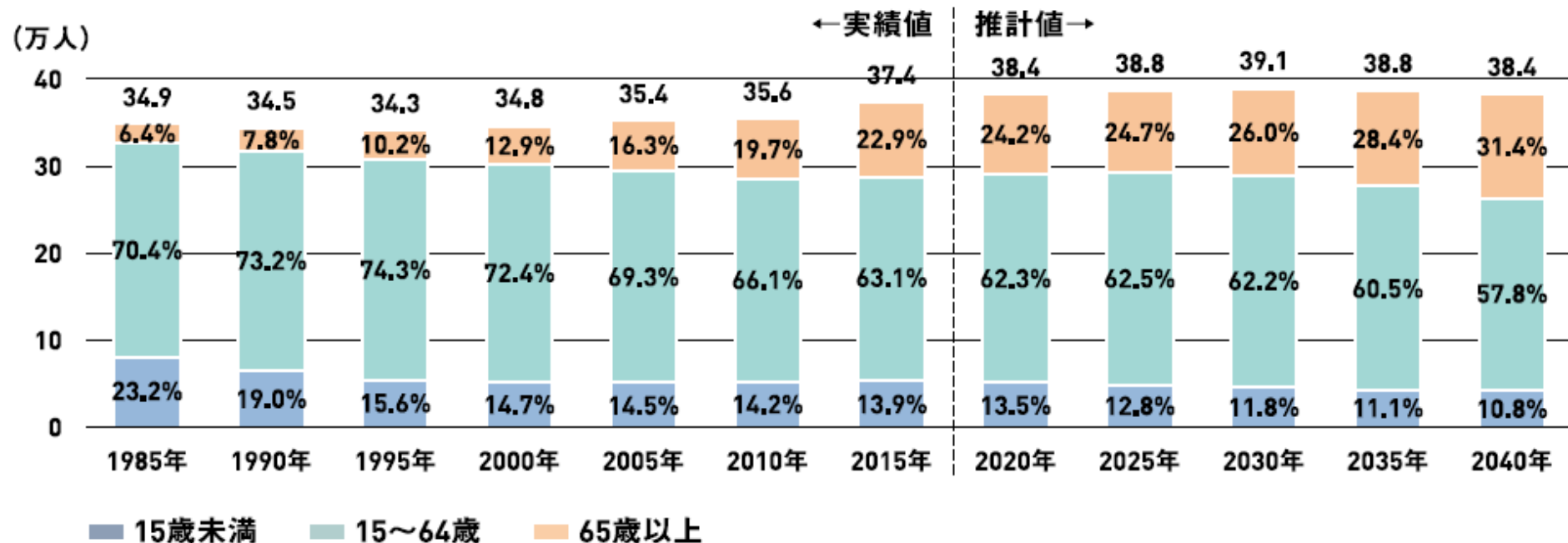
※ 「令和3年経済センサス-活動調査(速報)」より



吹田市の概要と特性

- 平成15年(2003年) 35万人、平成26年(2014年) 36万人、平成29年(2017年) 37万人と、人口は平成7年(1995年)から増え続けている。
- 今後も千里ニュータウンの建替えや住宅建設により、当面の間は人口が増加する見込み。

◆本市の人口の推移と将来人口の推計



吹田市の概要と特性

- 「ビールと操車場のまち」から「千里ニュータウンと万博のまち」へ。
- 令和2年(2020年)に中核市に移行。

◆市の沿革

明治22年(1889年)	有限責任大阪麦酒会社(現アサヒビール株式会社)の設立
大正12年(1923年)	国鉄吹田操車場の操業開始
・	
昭和15年(1940年)	吹田町、千里村、岸部村、豊津村が合併し、吹田市として市制施行
昭和28年(1953年)	新田村の下新田地区と合併
昭和30年(1955年)	山田村と合併
・	
昭和37年(1962年)	千里ニュータウンの入居開始
昭和45年(1970年)	日本万国博覧会の開催
・	
令和2年(2020年)	市制施行80周年 中核市移行



吹田市の概要と特性

○ 3つの特徴

- (1) 交通の利便性
- (2) 大学・研究機関・文化施設・生活関連施設の充実
- (3) 複合型都市

◆旅客駅数

15駅

(JR、阪急、北大阪急行、大阪メトロ、大阪モノレール)

◆大学の学生数

4万7,191人

(大阪府 令和3年度 大阪の学校統計)



◆病院の数

15か所(病床数20以上の医療機関)

(厚生労働省 令和2年医療施設調査)

◆医師の数

2,462人

(厚生労働省 令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計)



◆住宅総数に占める持家共同住宅の割合

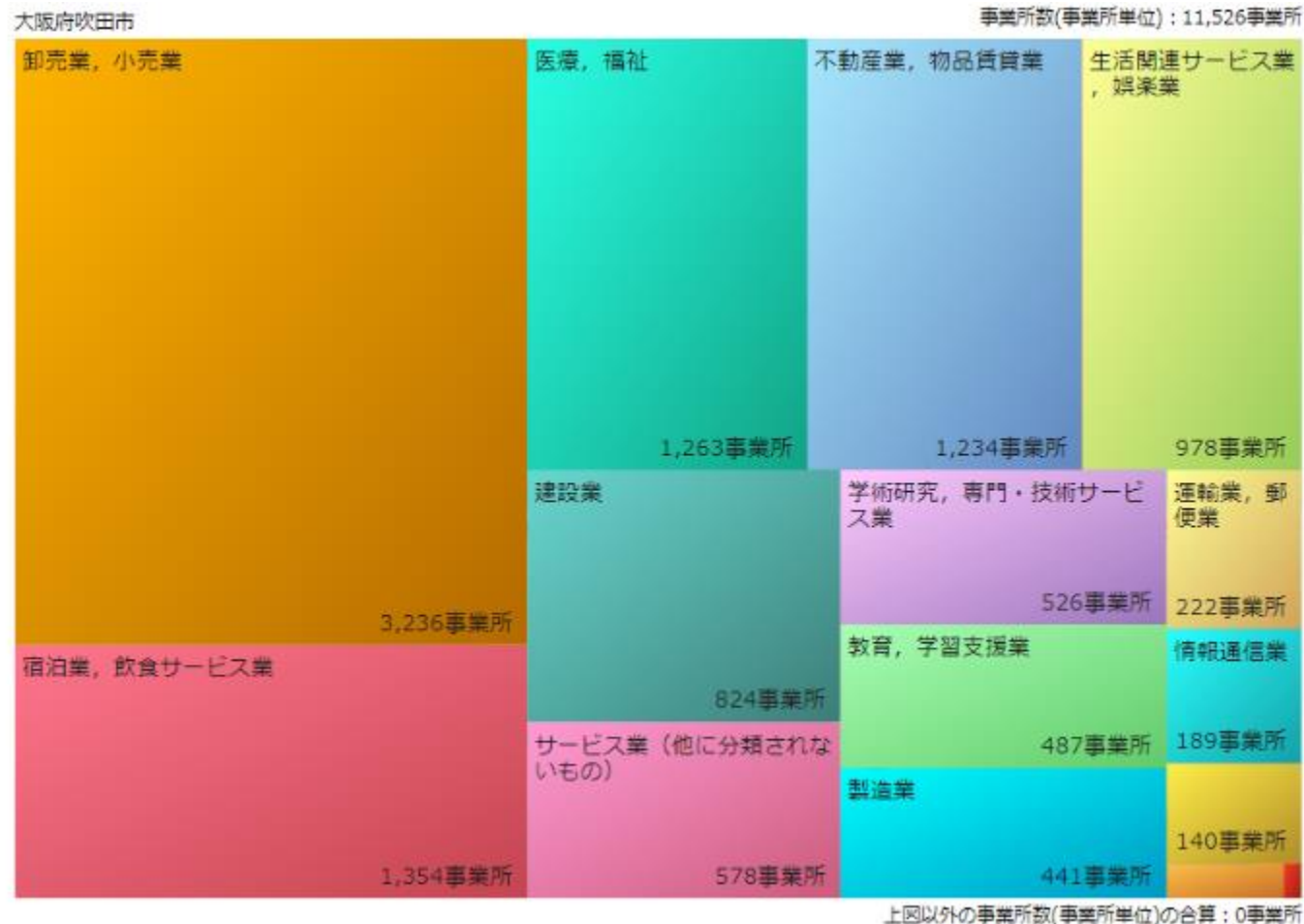
27.9%(総務省 平成27年国勢調査)



吹田市の概要と特性

吹田市の産業の特徴

産業分類別事業所数（大分類）

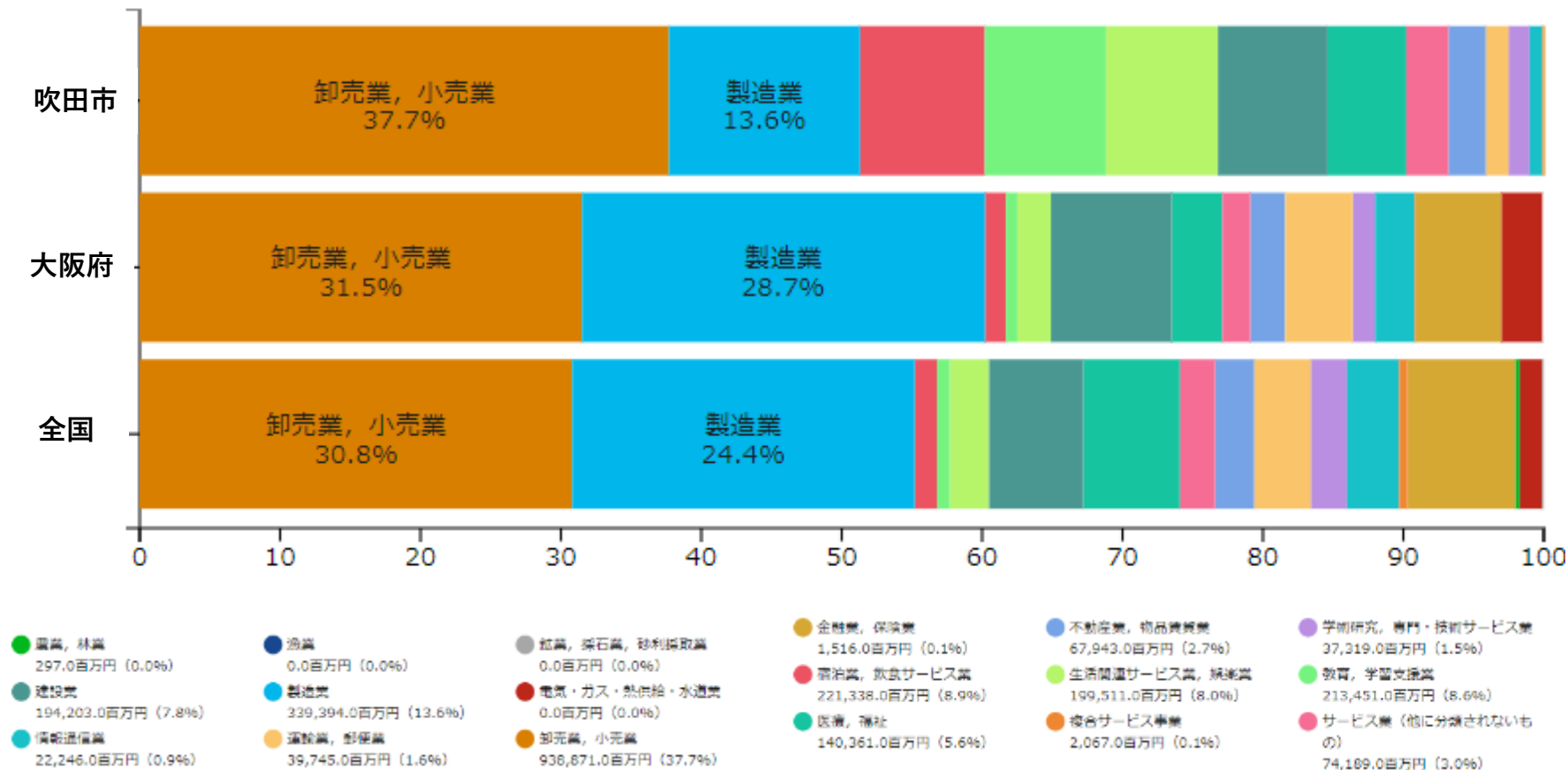


- 1位 卸売業、小売業
- 2位 宿泊業、飲食サービス業
- 3位 医療、福祉

吹田市の概要と特性

吹田市の産業の特徴

産業分類別売上高（大分類）



① 国府比較で、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉業の占める割合が高い。

② 国府比較で、製造業、金融業・保険業の占める割合が低い。

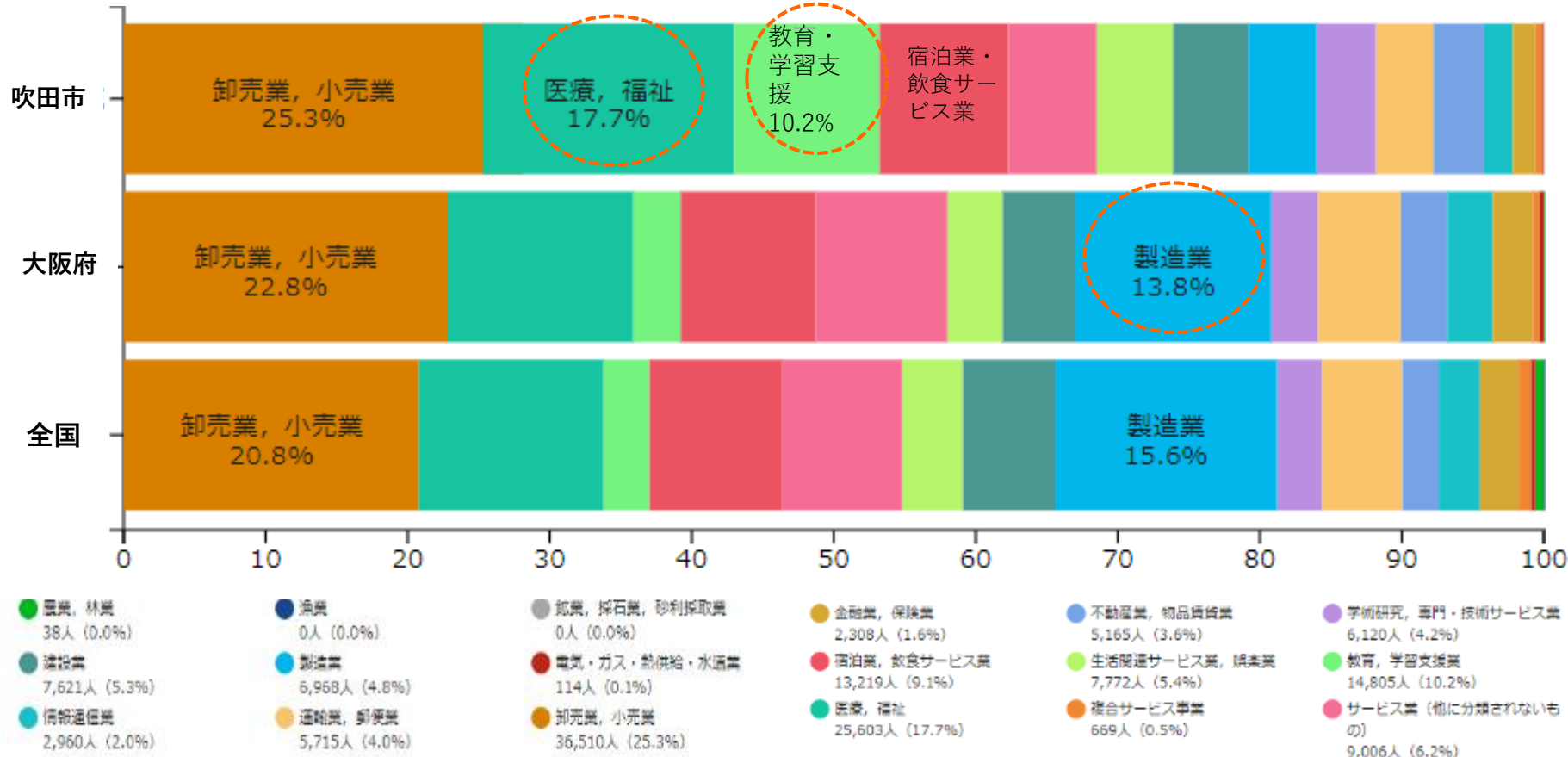
出展：総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

吹田市の概要と特性

吹田市の産業の特徴

産業分類別従業員数(大分類)

従業者数(事業所単位) 2016年 出展: 総務省「経済センサスー基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工



① 国府比較で、卸売業・小売業、医療・福祉、教育・学習支援に従事する人の割合が高い。

② 特に教育・学習支援は、国府の3倍以上となっている。

③ 吹田市は、製造業に従事する人の割合が少ない。

吹田市の概要と特性

吹田市の産業の特徴

ま と め

吹田市は、

- ・ 売上高で見ると、卸売業の売上が高い。
（卸売業の売上高は 府内で2位、全国で35位。（2016年））
- ・ 新たに事業を開始する起業者が多い。
（開業率は6.53%で 府内で3位、全国で10,000以上の事業所を有する112の市及び特別区の中で、13位。（2016年））
- ・ 従業者数は、医療・福祉、教育・学習支援に携わる人が多く、医療体制や教育環境がとても充実している。